

## 池谷元理事長が「日本放送協会 放送文化賞」を受賞しました

当センターの元理事長 池谷 浩 氏(現 山梨県富士山科学研究所 客員研究員)が、第 75 回日本放送協会 放送文化賞\*を受賞され、その贈呈式が3月 15 日(金)、NHK ホールにて開催されました。

贈呈式では、池谷氏が砂防研究の第一人者として、数々のニュースなどに出演し、的確な危険回避の呼びかけや対策を提言し、災害から命や暮らしを守る取り組みを続けた功績が映像で紹介され、稲葉 延雄 NHK 会長から表彰状とトロフィーが贈呈された後、演台でスピーチされました。 ※ NHK が 1949 年度に設けたもので、毎年、放送事業の発展に寄与し、放送文化の向上への貢献があった方々に贈られるもの

### (スピーチ概要)

砂防という災害を防ぐ仕事をしており、災害時には NHK で解説などをしてきました。

1 つご紹介したいのは、2008 年に四川地震を取り扱った NHK スペシャルに出演し、天然ダムの対策について話をしたところ、その放送を見て中国でその話をしてくれないか、とオファーがありました。これは、まさにテレビの放送があったからこそ、中国の天然ダムの対策の支援につなげることができた事例です。

これからも素晴らしい番組を放送し、その結果、国内、海外の災害による被害が少しでもなくなることを願っています。



受賞者の紹介



授賞式の様子



受賞後のスピーチ



会場の雰囲気

授賞式後、池谷氏は、「歴史と名誉ある放送文化賞において、防災、特に土砂災害分野で選んでいただき感謝しています。土砂災害について一般の人にわかってもらうためには、専門用語を使わない説明と、まずは報道の人にわかってもらうことが重要であり、若手や砂防技術者にはマスコミの方と普段から付き合ってほしい」と話していました。

当センターにおける主な職歴:

理事長 2005(平成17)年8月～2011(平成23)年8月

研究顧問 2011(平成23)年9月～2023(令和5)年9月

主な著書:「マツの話」(五月書房)、「火山災害」(中公新書)、  
「土石流災害」(岩波新書)、「砂防入門」(山海堂)、  
「土石流対策のための土石流災害調査法」(山海堂)、他多数

放送文化賞 授賞式のニュース(NHK サイト)

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20240315/k10014391691000.html>



日本放送協会 放送文化賞 HP(NHK サイト)

<https://www.nhk.or.jp/museum/bunkasho/index.html>



放送文化賞 受賞者紹介 HP(NHK サイト)

<https://www.nhk.or.jp/museum/bunkasho/bunka71-75.html#75>

